

第1回 大成小学校跡地活用検討会議 議事要旨

1 日時 令和8年7月28日（火） 19時00分から19時55分

2 場所 大成地域集会所

3 出席者

（委員）

澤委員、白取委員、竹束（照）委員、竹束（正）委員、西野委員、萬谷委員

（東成区役所）

春木区長、樽本副区長、谷口総合企画担当課長、朝田まちづくり推進担当課長代理、
総務課担当係員

4 議題

（1）大成小学校跡地の活用の基本的な考え方

（2）その他

5 会議資料

- ・ 会議次第
- ・ （資料1）大成小学校跡地活用検討会議（第1回）
- ・ （資料2）大成小学校用地の跡地活用について（参考）
- ・ （資料3）大成小学校跡地活用検討会議開催要綱
- ・ （資料4）大成小学校跡地活用検討会議メンバー名簿

6 議事要旨

（1）東成区長 あいさつ

（2）事務局から資料説明

- ・ 大成小学校跡地は、これまでの経過・地域要望を踏まえ「売却ありき」ではなく、地域防災・まちづくりの観点から活用検討を進める方針。
- ・ 大成小学校跡地活用における、大きな方向性は以下の3点。
 - （ア） 地域防災拠点機能の確保（避難所機能、備蓄物資の保管、避難訓練の実施機会の確保等）
 - （イ） 地域コミュニティ機能の確保
 - （ウ） 行政機能の集約化・多機能化（区庁舎を核とした庁舎の複合化）

(3) 質問・意見等の概要

① 行政機能の集約化・多機能化に関する意見

- ・跡地に区庁舎を核として、行政施設を集約化・多機能化する案は、良い案だと思う。
- ・跡地は、幹線道路に近く、アクセス性が高い。また、まとまった土地としても貴重である。拠点として重要となり得ると思うので、全体の最適の観点で検討の余地があると考ええる。
- ・現校舎は解体することになるのか。

② 地域活動の継続場所の必要性

- ・地域行事・活動や防災拠点としての機能を確保できないと、地域活動の場がなくなり、運営が厳しくなる。
- ・複合施設化する場合も、多目的室・講堂等の設置により、地域利用ができるようになればと思う。

③ 跡地の活用の可能性

- ・学校跡地だけでなく、隣接するバス車庫等も含めて視野に入れて検討してはどうか。

④ その他

- ・区役所は、災害時は職員の指揮機能（区の災害対策本部）として必要。複合施設になった場合、避難者の受け入れをどのように両立するのか。複合施設になった場合、避難者を受け入れる機能・施設が必要である。

7 確認事項（委員の総意として確認）

- ・跡地は「売却しない」前提で検討を進めること。
- ・大きな方向性は以下のとおり
 1. 地域防災拠点機能の確保
 2. 地域コミュニティ機能の確保
 3. 行政機能の集約化・多機能化（区庁舎を核とした庁舎の複合化）